

ひより×みほ×あかり×さち×あこの5人による 座談会

ひより 意外と住民票の登録の問題などで行けていない人がいるんだね。

みほ 前回行ったけど、その前は行ってないという人もいたよね。

あかり 不在者投票(※1)を使わない人もいた。送料がかかるらしいもんね。

さち まず不在者投票についても詳しく知らなかったな。

あこ たとえ国や警察に選挙について聞かれても、言わなくていい「秘密選挙」という制度が印象的だったね。

あこ どうで選挙の情報を得たらいいかという質問について、新聞とかもあるけどTwitterとかまとめサイトというのが今の時代だからこそ活用される方法なのかな。

さち 政党自体がアカウントをもってSNS発信していることを初めて知った。

あかり 新聞って難しいイメージがあるけど、もった資料の中では、わかりやすいのもあった。自分たちもチェックしないとな。

ひより 情報を集めるのも大切だけど、選挙の流れとかやり方を知るのも大切だよな。

あかり 学生選挙サポーターの方たちがしている、小学生に向けての出前授業で実際の投票箱を使ったりしているのを知って、やってみたいと思った。

さち 小学生に授業したときに質問タイムで大学生がひるむくらいの高度な質問をしていてと聞いて驚いた。私たちも18歳選挙権について考えているけれど、小学生の時からこのような授業を受けている子たちがいるなら、将来、もっと投票率が上がるようになるのかな？

あかり 高校でも現代社会がなくなって、「公共」(※2)という授業が始まるらしいよ。どんな授業なんだろう？ 選挙のことなどが扱われたときに、私たちの日常にどのような変化が起こるんだろう。

みほ ネット投票について考えてみたけど、最近SNSなどのアンケート機能で間違っ押しちゃうこともあるし、手軽すぎて適当な判断になってしまうのかな。実際に投票に行くことで、自分の一票の責任を感じられるし、正確な判断をできるようにするのかな。

ひより 高校でも現代社会がなくなって、「公共」(※2)という授業が始まるらしいよ。どんな授業なんだろう？ 選挙のことなどが扱われたときに、私たちの日常にどのような変化が起こるんだろう。

みほ ネット投票について考えてみたけど、最近SNSなどのアンケート機能で間違っ押しちゃうこともあるし、手軽すぎて適当な判断になってしまうのかな。実際に投票に行くことで、自分の一票の責任を感じられるし、正確な判断をできるようにするのかな。

あかり 高校でも現代社会がなくなって、「公共」(※2)という授業が始まるらしいよ。どんな授業なんだろう？ 選挙のことなどが扱われたときに、私たちの日常にどのような変化が起こるんだろう。

みほ ネット投票について考えてみたけど、最近SNSなどのアンケート機能で間違っ押しちゃうこともあるし、手軽すぎて適当な判断になってしまうのかな。実際に投票に行くことで、自分の一票の責任を感じられるし、正確な判断をできるようにするのかな。

ひより 住民票を移すってそんなに大変なことなの？ もっと簡単だったら投票率も上がると思うな。

みほ 日本の投票率に比べて、海外はどうか？ アメリカを調べてみたらあんまり高くなかったよ。

ひより 罰金がある国もあるって聞いた。その国の若者の投票率は80%ぐらいらしいよ。(※3)

さち 教科書で見た！

みほ 日本の投票日はだいたい日曜日だよな。仕事があつて行けない人もいるから、もっと期日前投票(※4)を知ってもらえたらなと思った。

さち 新たに学んだことがたくさんあったな。

ひより 政治について知らないことはたくさんあったけど、意外と情報交換とかの決まりはなかったんだね。

あこ 選挙って思っているほど難しくないのかもね。

みほ もっと気軽にできるね。

終えてみて思ったこと。

高校生が作ったページ

高校生が「18歳選挙権」について考える

今回のテーマは18歳選挙権。高校生の私たちにとってリアルなテーマではありますが、あまり深く考えたことはありませんでした。知る必要があると思い、右京区学生選挙サポーターのみなさんにインタビューをしてきました。



1 サポーターのみなさんは投票には行かれたか？

- 高校生の時は行ったけれど、大学入学後はまだ行っていません。
- 今回は住民票を移行していなかったため行きませんでした。
- 住民票の関係で投票用紙を取り寄せてもらい投票しましたが、送料がかかりました。
- 私の周りの大学生は投票に行かない人が多いです。住民票移行の問題もありますが、そもそも選挙自体についてあまり知らないという人もいます。

2 実際に誰に投票したかなど、選挙に関する話してもいいんですか？

「秘密選挙」という言葉がありますが、それは投票内容の非公開が保証されている選挙のことをいいます。だから、友だち同士で選挙に関する話を話してはいけないというルールはありません。むしろ、意見交換は情報収集の一つのツールだと思います。多様な考えや主張がある中で、一個人の意見を聞いて、自分の中でどう消化するかが大切だと思います。

3 投票に関して、候補者の情報をどこで得たら良いですか？

テレビや新聞、インターネットや街頭演説から情報を得ることができます。また、今では政党自体がSNSのアカウントを持ち、情報を公開しているため、そこを見たり、政党に関するまとめサイトなどを見るとわかりやすいです。ただ、インターネットの全ての情報を鵜呑みにせず、正しい情報を自分で見極めることが大切です。

4 「ネット投票」はなぜ実現されないのですか？

インターネットで投票ができるようになると、手軽になる一方で、万が一、情報が漏れると個人情報特定される恐れがあり、それは「秘密選挙」に反します。また、一人一票という決まりを本当に守れるのか、という問題もあり、実現は難しいのが現状です。

5 高校生にも公約がわかりやすいものになるためには、私たちはどうすべきですか？

候補者が高校生にレベルを合わせるべきだと思いますが、候補者は実際に選挙に来てくれる人を対象に公約を書きます。高校生にもわかりやすくしてもらうためには、君たち高校生も政治に関心を示しているという姿勢を見せることも必要かもしれません。

6 候補者の公約を読んで、難しいと思ったのですが……どうすればわかりやすくなりますか？

直接候補者に会える機会があれば、わかりやすくしてほしいと思います。ですが、公約は対面では伝えられないので、正式な言葉で伝える必要があり、堅い言葉になるのだと思います。街頭演説ではわかりやすい言葉で演説されていたり、学校などで行われる個人演説会では直接話ができたりますのでわかりやすいかもしれません。

今回取材させていただいた…

右京区学生選挙サポーターさんの活動

出前授業



劇や模擬投票による選挙の授業を小学校や特別支援学校で行います。

活動の意見交換



学生選挙サポーターの活動内容の説明と意見交換をしています。

選挙の啓発



活動を通して選挙の大切さを伝えています。

右京区学生選挙サポーターは右京区にゆかりのある大学に通う学生が集まり、右京区選挙管理委員会と連携して活動しています。現在は花園大学、立命館大学、京都学園大学、京都光華女子大学の有志の学生が加入しています。右京区内にある小学校などでの出前授業をはじめ、様々なイベントなどで選挙に関する啓発活動を行っています。

※1 不在者投票……仕事や用事で名簿登録地以外の市区町村に滞在していて選挙期日に投票できない場合、選挙期日の前に、滞在先の選挙管理委員会において不在者投票をすることができます。(京都府情報館ホームページより)

※2 公共……2022年の高等学校学習指導要領改訂に伴う、「公民科」の必修科目。選挙権年齢引き下げをふまえ、社会参画に必要な力を育てる新科目です。

※3 「選挙ドットコム」より。<http://go2senkyo.com/articles/2016/04/06/16782.html>

※4 期日前投票……選挙期日に仕事や用事があると見込まれる方などを対象に、選挙期日の前でも選挙期日と同じように、投票用紙を直接投票箱に入れ、投票できる制度です。(京都府情報館ホームページより)